

家庭教育ワークシート「つながるシート」一覧

段階・対象	項目	内容
I “キラキラ” 未来の子育て世代 (中・高・大学生対象)	1 親の心	親になつたらしたいこと(親の立場で考える)
	2 家族観	未来の家族(結婚観、家族観を育む)
	3 子育て環境	人口減少を考えよう(出産・子育て環境を考える)
	4 命の尊厳	赤ちゃんポストって何?(命の尊さを理解する)
II “スクスク”乳幼児期 (0～2才の乳幼児の 親対象)	1 親の心構え	楽しみながら子育て!(ストレス対処法を知る)
	2 家族の理解	パパありがとう(夫婦・家族の子育て)
	3 親の心構え	比べないで、ほくのこたわしのこと(個人差を理解する)
	4 子育て環境	パパも子育て(お父さんの子育て) すべての世代の父親対象
III “ドキドキ”幼児期 (3～6歳児の親対象)	1 生活習慣	早寝早起き朝ごはん(生活習慣を見直す)
	2 コミュニケーション	子どもと向き合って!(より良い親子関係を考える)
	3 自立自立	子どもの自主性をどう育てる?(子どもの自主性を育てる)
	4 親の心構え	イライラと上手に付き合う(子どもの成長を見守る)
	5 善悪の判断	こんなときどうする?(公共の場での過ごし方)
	6 子どものトラブル	気持ちの伝え方をどう教える?(人間関係づくり)
	7 お父さんの子育て	どんなことして遊んでいますか?(お父さんの子育て)
	8 読書	絵本は心の栄養!(親子の絆を深める)
IV “ワクワク”学童期 (小学生の親対象)	1 生活習慣	早寝早起き朝ごはん(生活習慣を見直す)
	2 生活習慣	家での過ごし方(生活習慣を見直す)
	3 家庭学習	家庭学習のすすめ(子どものやる気を引き出す)
	4 交友関係	どうする!?どう言う!?①(子どもの人間関係への関わり)
	5 善悪の判断	どうする!?どう言う!?②(子どもの判断への関わり)
	6 ほめ方、叱り方	子どものほめ方、叱り方(子どもを伸ばすために)
	7 親の心構え	聞いて聞いて(信じる、見守る、待つ、聞く)
	8 お父さんの子育て	子どもの心をつかむ(お父さんの子育て)
	9 ネット社会	ネット社会・我が家のケータイ・スマホルール(インターネットを考える)
V “イキイキ”思春期 (中学生の親対象)	1 コミュニケーション	進路選択、どう関わるか(気持ちを伝える、受け止める)
	2 親子の自立	ほどよい距離感って?(子どもの自立と親の自立)
	3 学校不適応	学校に行きたくない(親としての対応)
	4 規範意識	うちの子はだいじょうぶ?①(子どもの変化、親の気付き)
	5 いじめ	うちの子はだいじょうぶ?②(子どもの変化、親の気付き)
	6 お父さんの子育て	お父さんの出番!?(お父さんの子育て)
	7 ネット社会	ネット社会・我が家のケータイ・スマホルール(インターネットを考える)
VI “ユウユウ”シニア世代 (自分の子育てを 終えた中高年対象)	1 声の掛け方	地域の子どもの声を掛けよう(地域の子どもの関わり方を考える)
	2 ほめ方、叱り方	ほめよう、叱ろう地域の子ども(子どもの心をつかむ)
	3 子育てのギャップ	今どきの子育て(現代の子育て事情の理解)
	4 祖父母の心構え	初孫が生まれます!(母親と子どもの成長を見守る)

※「つながるシート」の段階・対象は目安なので、内容を見て自由に活用してください。

静岡県・ふじのくにの子育て

親子が輝く家庭教育

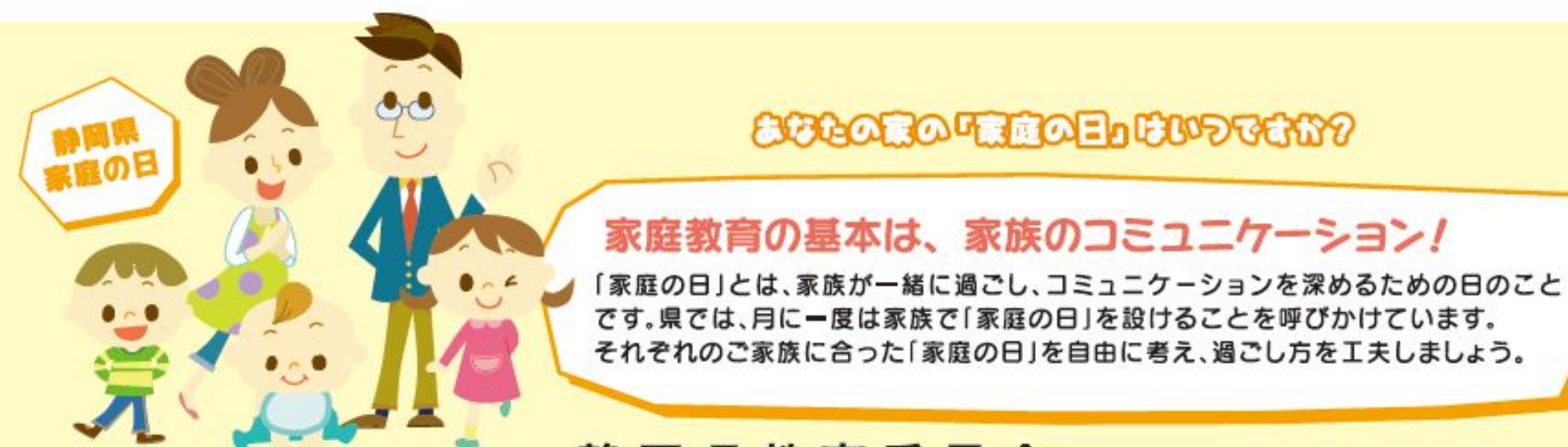
～ 家庭教育は子どもを伸ばす栄養です ～



～ 静岡県家庭教育支援条例の理念 ～

『子どもたちは地域の宝です。』

家庭教育への支援は社会全体で一体になって取り組むことが求められています。家庭が、学校が、地域が、職場が、協力し合って次世代を育成していきましょう。このリーフレットには静岡県の家庭教育支援施策がまとめてあります。家庭で、学校で、地域で、職場で、ぜひご活用ください。



静岡県教育委員会

家庭教育支援についてのお問合せは

静岡県教育委員会社会教育課 地域・家庭班
TEL: 054-221-3115
E-mail: katei@pref.shizuoka.lg.jp
HP: http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080/

家庭教育支援員を中心とした家庭教育支援チームの取組

すべての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、静岡県は家庭教育支援員を養成し、市町は保護者の身近な地域に家庭教育支援チームを組織して、学習機会の提供や相談対応等の家庭教育支援活動を実施します。

<家庭教育支援員>はどんな人なの？

▷▷静岡県家庭教育支援員養成研修会で、家庭教育支援の知識とスキルを学んだ地域の方です。元教員、社会教育指導員、PTAの先輩ママ・パパなど様々な方が、市町教育委員会に人材登録されています。行政や学校と協力して、幼稚園や小学校、中学校の保護者会、懇談会、家庭教育学級、子育て講座などの親が集まる場で、子育てについて話し合う会を行います。

<家庭教育支援チーム>って何？

▷▷家庭教育支援員が中心になって組織した家庭教育支援チームは、学びの機会の提供の他、子育てサロンなどの保護者の居場所づくりや家庭教育に関する相談など発展的な取組を行います。各市町の地域の特性や保護者の実態、支援の必要性などにより、行政や地域の専門家と協力して、よりよい家庭教育支援を行うことが期待されます。

「集いつながり学ぶ」家庭教育講座

みんながつながる家庭教育

家庭教育支援員が、家庭教育ワークシート「つながるシート」を使って、子育てについての話し合いを進行します。

集い



親が集まる活動に参加しましょう！

学校の懇談会や家庭教育学級等での家庭教育講座に、まずは出かけて行きましょう。

つながり



「つながるシート」で話し合いましょう！

4～5人のグループをつくり、〈つながるシート〉のテーマに沿って子育てや家庭教育についての意見を交換したり、一緒に考えたりします。

学ぶ



お互いの意見で学び合いましょう！

話し合いの中で、自分の子育てや家庭教育を振り返ったり、グループの仲間から新たな情報を得たりします。「これが正解」はありません。いろいろな情報から、自分なりの「答え」をみつけて、これからの子育てに生かしていきます。



訪問型家庭教育支援

学校や専門家と連携して、家庭訪問等を実施しています。



居場所作り

乳幼児等の保護者を対象に、子育てサロンを開催しています。



相談対応

講座開催時や相談教室、電話等で相談を受け、簡単な助言をしています。



県 官民連携家庭教育支援事業

県は、働く保護者を支援するため、企業訪問をして家庭教育応援企業を募集したり、企業内で家庭教育講座を実施したりしています。また、特に積極的に家庭教育支援を行っている企業を表彰し、企業内での家庭教育支援の気運を高めています。



株式会社エネジンの企業内講座